

精密工学会北陸信越支部（石川県）特別講演会

「スマートファクトリー実現に向けたデジタル革新」

開催日

2018年12月4日(火) 13:00～14:30

会場

金沢大学 角間キャンパス南地区 自然科学大講義棟レクチャーホール

講師

東芝メモリ（株）デジタルプロセスイノベーションセンター センター長 久保 哲也 氏

概要

東芝メモリは1987年に世界で初めてフラッシュメモリを発明しましたが、微細化と生産規模の拡大による継続的なコスト削減により低価格化が進み、フラッシュメモリの市場が急拡大してきました。四日市工場は世界最大規模のフラッシュメモリ工場であり、デジタル化されたビッグデータにAI（機械学習・深層学習）を活用することで業務効率化を進めています。また、世の中のIoTの進展・AI適用の拡大により、フラッシュメモリの需要は一層拡大しており、3次元フラッシュメモリや新規メモリの開発も加速させています。将来の生産拡大に備え、人はより高度な業務を行っていくための、スマートファクトリー実現に向けたデジタルプロセスイノベーションの推進についての取り組みを紹介します。

定員

90名

参加費

無料（事前申込不要）

問合せ先

金沢大学 理工研究域 フロンティア工学系 関 啓明

E-mail : hseki@se.kanazawa-u.ac.jp

TEL : 076-234-4705

*最新情報は支部ホームページ <http://hoku-shin.jspe.or.jp/> をご覧下さい。